

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【公開番号】特開2018-36119(P2018-36119A)  
 【公開日】平成30年3月8日(2018.3.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-009  
 【出願番号】特願2016-168771(P2016-168771)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/493 (2006.01)

G 0 1 N 33/531 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/493 Z

G 0 1 N 33/531 Z

G 0 1 N 33/543 5 2 1

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月19日(2019.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロテアーゼを含む非特異反応抑制剤と、尿試料とを接触させる工程を含む、尿試料中の多糖抗原を検出または定量するためのイムノクロマトグラフィー法における前処理方法。

【請求項2】

前記多糖抗原が肺炎球菌またはレジオネラに由来する、請求項1に記載の前処理方法。

【請求項3】

前記プロテアーゼがプロテイナーゼKである、請求項1または2に記載の前処理方法。

【請求項4】

前記プロテアーゼを含む前記非特異反応抑制剤と、前記尿試料とを接触させる工程が、前記尿試料と前記非特異反応抑制剤を含む前処理液中で接触させる工程である、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の前処理方法。

【請求項5】

前記前処理液における前記プロテアーゼの濃度が0.002U/ml以上である、請求項4に記載の前処理方法。

【請求項6】

前記前処理液における前記プロテアーゼの濃度が4.66U/ml以上である、請求項4に記載の前処理方法。

【請求項7】

前記前処理液における前記プロテアーゼの濃度(U/ml)と前記プロテアーゼおよび前記試料が接触する時間(hr)との積が0.14以上である請求項4乃至6のいずれか1項に記載の前処理方法。

【請求項8】

前記プロテアーゼを含む前記非特異反応抑制剤と、前記尿試料とを接触させる工程が加温されることなく行われる、請求項1乃至7のいずれか1項に記載の前処理方法。

## 【請求項 9】

尿試料中の多糖抗原を検出または定量するためのイムノクロマトグラフィー法に用いられる非特異反応抑制剤であって、プロテアーゼを含む、非特異反応抑制剤。

## 【請求項 10】

前記多糖抗原が肺炎球菌またはレジオネラに由来する、請求項 9 に記載の非特異反応抑制剤。

## 【請求項 11】

前記プロテアーゼがプロテイナーゼ K である、請求項 9 または 10 に記載の非特異反応抑制剤。

## 【請求項 12】

前記尿試料の前処理液または展開液として用いられる請求項 9 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の非特異反応抑制剤。

## 【請求項 13】

試料供給部と、  
前記試料供給部の下流側に位置するクロマトグラフ媒体と、  
標識試薬が溶出可能に保持された標識試薬保持部と、  
固定化抗体を含む検出部と、  
を有するテストストリップおよび、  
請求項 9 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の非特異反応抑制剤を含む、イムノクロマト試薬。

## 【請求項 14】

前記非特異反応抑制剤が、前記テストストリップの前記試料供給部から前記標識試薬保持部までのいずれかの部位に含まれる、請求項 13 に記載のイムノクロマト試薬。

## 【請求項 15】

試料供給部と、  
前記試料供給部の下流側に位置するクロマトグラフ媒体と、  
標識試薬が溶出可能に保持された標識試薬保持部と、  
固定化抗体を含む検出部と、  
を有するテストストリップを用いて、イムノクロマトグラフィー法により尿試料中の多糖抗原を検出または定量する方法であって、  
請求項 9 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の非特異反応抑制剤を用いる、方法。

## 【請求項 16】

試料供給部と、  
前記試料供給部の下流側に位置するクロマトグラフ媒体と、  
標識試薬が溶出可能に保持された標識試薬保持部と、  
固定化抗体を含む検出部と、  
を有するテストストリップを用いて、イムノクロマトグラフィー法により尿試料中の多糖抗原を検出または定量する方法であって、  
請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の前処理方法を用いる、方法。

## 【請求項 17】

プロテイナーゼ K を含む非特異反応抑制剤と、尿試料とを接触させる工程を含む、尿試料中の多糖抗原を検出または定量するための免疫学的測定法における非特異反応の抑制方法。

## 【請求項 18】

前記多糖抗原が肺炎球菌またはレジオネラに由来する請求項 17 に記載の非特異反応の抑制方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	<a href="#">JP2018036119A5</a>	公开(公告)日	2019-09-26
申请号	JP2016168771	申请日	2016-08-31
[标]申请(专利权)人(译)	荣研化学株式会社		
申请(专利权)人(译)	荣研化学株式会社		
[标]发明人	國料秀勇 坂西千紗		
发明人	國料 秀勇 坂西 千紗		
IPC分类号	G01N33/493 G01N33/531 G01N33/543		
FI分类号	G01N33/493.Z G01N33/531.Z G01N33/543.521		
F-TERM分类号	2G045/AA16 2G045/AA25 2G045/BB32 2G045/DA30 2G045/FB03		
其他公开文献	JP6703354B2 JP2018036119A		

#### 摘要(译)

要解决的问题：提供一种能够在免疫学测量方法中抑制非特异性反应的方法，用于检测或定量尿液样品中的多糖抗原。一种用于检测或定量尿样中多糖抗原的免疫学测量方法中的预处理方法，包括使含有蛋白酶的非特异性反应抑制剂与尿样接触的步骤。此外，使用含有蛋白酶的非特异性反应抑制剂，该蛋白酶用于检测或定量测定尿液样品中多糖抗原的免疫学测定方法。